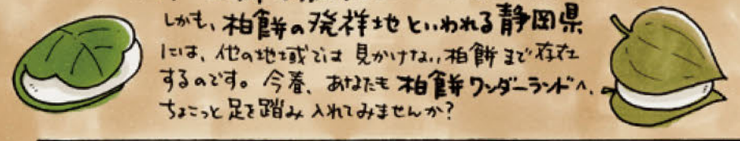
# 松鳥むうの晴れときどき旅びより

## 松鳥的 にっぽんの食遺産 東西の柏餅

たぶん、日本の人なら誰しもが1度は目にしたコトがあるであろう柏餅。
実は、本来の柏餅は東日本と西日本でちがう、って知ってました？
しかも、柏餅の発祥地といわれる静岡県には、他の地域では見かけない、柏餅まで存在するのです。今着、あなたも柏餅ワンダーランドへ、ちょこっと足を踏み入れてみませんか？



子どもの頃 端午の節句の食というと ちまきだった私

ちまき 大好き♥

滋賀県なまれ育ち

20代で上京してから柏餅を食べるようになりました

漫画とかでよう見た柏餅や——

おお！

——ある時 旅で訪れた岡山県の離島 大飛島で……

ほれ！ あそこに柏餅の葉がようけ茂っとる

島のおばあちゃん

おばあちゃんの指さした先には柏の葉ではない葉が茂っていました

柏……なんか気がするんやけど……

ぶーん

当時はただただ謎だらけでした ——が!!

端午の節句を調べている時に——

ど!? 東日本は柏の葉を使い 西日本はサルトリイバラの葉を使う……とな!!

柏餅のコトが書いてある本

大飛島は西日本やから…あのおばあちゃんはサルトリイバラのコトをさしてはったんか——!!

個人的に大発見や!!

大飛島

柏の木は西日本には少なかったため より多く自生していて端午の節句の時期に青々としているサルトリイバラの葉が使われるようになりました

まるくて厚め

サルトリイバラの葉

現在は柏の葉を使った柏餅が全国に流通していますが西日本の道の駅や産直市場に行くとサルトリイバラを使った柏餅が売られているのを見かけます

サルトリイバラ エリア 西日本全体

柏の葉 エリア 福島県から中部地方

注 大まかな分類です

サルトリイバラを使った餅は地域によって名前もいろいろです

滋賀 ガラタテもち

中にあんこ

高知 シバもち

鹿児島 かめラン団子

餅にヨモギかあんこがねりこまれている。中にあんこはなし。

サルトリイバラの呼び名も地域で異なります

ぼたの葉

サンキライ

ガラタテ

——ちなみに、サルトリイバラを使った柏餅は昔、田植え時のおやつだったり子どもたちのおやつだったりしました

手作業の田植え時代

田植え時期は超忙しいからおやつとしてまとめていっぱい作っておくんです

そら豆良さ♥

サルトリイバラの葉を使うわよ

うちの地域はおたふく豆のあんの柏餅を作るんです 旬だからねー

*そら豆のコト

弓削島(愛媛県)の70代の方

端午の節句は、本来、旧暦の5月5日であり その頃は新暦ではだいたい6月頃。田植えを手作業で行っていた時期はちょうどその頃だったのです

——では

今度は東日本の柏餅を見ていきましょーッ

ピョコッ

そもそも柏餅が誕生したのは江戸時代初期(1658〜1661年頃)といわれています

第4代将軍 家綱の時代

柏餅の発祥は文化が集まるお江戸かと思いきや……静岡県の自須賀宿と愛知県の二川宿の間の境宿にあった"猿ヶ馬場"という茶店だという説があります

現在境宿の場所には看板があるだけでお茶屋さんとかはないですよー

三条大橋 琵琶湖 境宿 東海道五十三次 日本橋 二川 白須賀

東海道を行く旅人に柏餅を出していたようでこんな形をしていました

オープンサンド風!?

餅をくるむように置いてあるあんが

何かの葉

餅

食べる時に折って食べていたのかも？

くるん

そして、葉っぱは柏の葉ではない時もあったとか

——そもそも

"柏"の語源は"炊しの葉"。昔、竈で米を蒸す時に下敷きに使った葉の総称

柏、朴、サルトリイバラ……といろんな葉が使われていました

朴の葉

その中で代表的な葉が"柏"だったのです

カシワドングリがなります

そのお返しに贈られていたのが大柏餅なのです

今は贈る人は少ないみたい

内祝

顔サイズ!!

夢の国サイズのお菓子のよう♪

静岡県浜松市の三ケ日あたりでは生まれた男の子の初節句に親戚たちが兜や幟、こいのぼり等を贈る風習がありました

おめでとー!

大柏餅

通常の5〜10倍の大きさ

通常サイズ→

——ところで

柏餅発祥といわれる静岡県にはこんな柏餅もあるんです

友人と半分こしたのですが……

中のあんこがほど良い甘さでスッッと食べれてしまう

——と、ペロリと完食!!

——また

浜松あたりには他の地域にない珍しい柏餅があります それは……

もろこしの柏餅

"もろこし"とは"タカキビ"のコト タカキビ粉を餅にねりこんであるので赤茶色の餅になるんです

お米が貴重だった頃 かさ増しに入れたのがはじまりだとか……

タカキビ

ほんのりカカオっぽい味の餅になる

あなたの町の柏餅はどんなのですか？ ちょっと気にして見てみると発見があるかも!!

顔サイズ!!


松鳥むう（まつとり むう）
イラストエッセイスト。滋賀県出身。今までに訪れた国内の島は142島。ユースホステルやゲストハウスに100軒以上宿泊。著書に『日本てくてくゲストハウスめぐり』(ダイヤモンド社)、『島旅ひとりっぷ』(小学館)、『トカラ列島 秘境さんぽ』(西日本出版社)、『むう風土記〜ごはんで紐解く日本の民俗・ならわし再発見録〜』(A&F)、最新刊は『粕汁の本 はじめました』(西日本出版社)。Podcast配信中→「松鳥むう」で検索を。lit.link/muumatutori